

# くすね信

～養泉寺寺報 Vol.9～



みんなで作り上げた養泉寺マルシェ(2022年7月10日)

## 特集 ～今できることは何だろう?～

「まずはお寺に来てもらう。それぞれの過ごし方でいいから、とにかくお寺という空間を感じてもらう。そして御本尊の前に座って手を合わせてもらう。そんな時間を大切に出来たら…」

7月10日(日)。以前から抱いていたそんな思いを形にすることができました。初めての開催となった養泉寺マルシェ。当日は、大勢の若者や子どもたちが足を運んで下さって、大盛況のうちに終わることができました。

お寺はどんな人でも来て良い場所です。そして、跳び上がるほどに嬉しい時も、死んでしまいたいほどに苦しい時も、黙って受けとめてくれる存在である阿弥陀様がおられる所です。どんな人をも「仲間」として呼びかけ、一緒に教えを聞いていこうよ、という場所ですから、その場所に人がいる、人が来る、ということをととても大切にしています。

とりわけ、現代社会の中で最も悩み苦しんでいる世代である10代～20代の若者たちの居場所を作ることは、大きな目標です。養泉

寺としても、まだまだ取り組みは発展途上ですが、どんどんその世代にもはたらきかけていき、生き生きとした居場所作りをしていきたいと思っています！

さて、マルシェとはフランス語で「マーケット」や「市場」を意味する言葉です。当日は多くの方がそれぞれのブースを広げ、市場を盛り上げて下さいました。今回の企画は、養泉寺の寺族だけではなく、出店者、その知り合いなど、大勢で協力して作り上げた企画でした。みんなで考え、それぞれの得意を生かし合って準備し、協力し合って後片付けをしました。お寺はみんなのものですから、行事もイベントも、みんなで協力し合っていくことが出来れば最高です。お寺は寺族の家ではありません。寺族は、みなさんのお寺を「預かっている」に過ぎません。だからこそ、みなさんに来てほしい、見てほしいし、使ってほしいのです。今回のマルシェは、そんなお寺本来の在り方を問う、そんなイベントにもなった気がします。

とはいえ皆さんの家庭状況は千差万別です。お寺に来たくても来られない方もおられますので、そういった方にどのように関わっていくかも大きな課題です。悩みは尽きませんが、お寺のあるべき姿やその大切さを、これからも伝えていけたらと思います。（文章：住職）



## KOTONOHA



毎月変わる掲示板にご注目！！

### 養泉寺の掲示板の言葉（3月から8月まで）

- 3月 「悲しみの深さは 贈り物の大きさ」
- 4月 「一隅を照らす これすなわち国宝なり」
- 5月 「子どもでも知っているのに 大人になってもできない」
- 6月 「笑いあり 涙あり 出遇いあり」
- 7月 「埃は光の中で 埃のまんまキラキラ」
- 8月 「行きと帰りでは 違った私が見えてきた」

毎月の法語印は解説付きで喜ばれています。言葉の味わいが深まりますよ！！



# 教えて！！ Q & A コーナー



御本尊にもお参りするのじゃぞ

御門徒さんからいただいた疑問や質問にお答えします。今回はお墓参りについて！！

**Q お墓参りにルールはあるんですか？(多数の方より)**

**A** 結論から言えば、宗派の違いや地域の違いもあり、特別な決まりはありません。しかし、誤解の多い部分がありますので、ポイントを絞って少しお伝えします！！

**○必ずお墓に行く前に、本堂で御本尊にお参りをします。**

お墓参りとは、「お墓の前で手を合わせること」ではありません。お墓をご縁に、御本尊にお参りすること、その全体がお墓参りです。

**○お供え物はお下がりとしてすぐに持ち帰ります。**

お墓にお菓子やジュースなどをお供えしたら、お参りの後すぐにお下がりとして持ち帰ります。持ち帰った後は、美味しくいただきます。その場にずっとお供えしておくと、腐って異臭の原因となる他、虫や獣によって荒らされることもあります。

**○お墓の前で泣いてもいいに決まっています。**

「千の風になって」という有名な歌の歌い出しに「私のお墓の前で泣かないで下さい」と言われますが、泣く時もあります。亡き人を思い出し、泣きたければ泣けばいいのです。もっと言えば、お寺でも泣いたっていいのです。誰もが泣き笑いし、人生を味わう場所がお寺です。



## あなたにインタビュー ～菅沼 曜子～

今回は、坊守の伝筆を楽しく習って下さっている木島の菅沼曜子さんにお話を伺いました！！



**倉:**菅沼さんははまなすウインドアンサンブルでも活動されていますが、コロナ中の活動はいかがですか？

**菅:**出来る範囲で対策をしながら活動しています。参加は各々の判断ですね。冬でも換気のために扉を全開にして演奏していましたよ(笑)寒かったです！

**倉:**お寺も何が正解か分からない中ですが、行事は勤め続けています。

**菅:**それでいいと思います。お寺が開いていなかったらやっぱり皆困ると思います。

**倉:**ありがとうございます。そう言っていただくと嬉しいです。

**菅:**お寺の皆さんはいろいろな方と会うでしょうから、心配もあると思うんです。それでも快く受け入れて下さることが、本当にありがたいです。

**倉:**言葉は違いますが、「居場所」や「拠り所」として、お寺がここに在る、ということが大切だと思っています。

**菅:**もしも身内が亡くなったとして、例えば家族葬、内々での葬儀だといって、コロナが増えていたとしてもその時たよるのはお寺さんですからね。

**倉:**ありがとうございます。僕は、曜子さんぐらいの年代・世代の方々がもっとお参りして下さると嬉しいなあと思っています。何かアドバイスはありますか？

**菅:**とにかく泰然自若というか、ここに在りますよ、っていうそのアピールだけで十分な様な気もするんですよ。

**倉:**なるほど。

**菅:**養泉寺さまは、コンサート開かせていただいたこともありますし、活動的なお寺ということすでに寺泊では有名ですが、そういうこともしつつ…。

**倉:**今聞いていて思ったことは、そういう活動的な部分も大事だけれど、「静」の部分というか、ただただそこに在るよ、ということの大事さみたいなものを再確認できたかなあとと思います。

**菅:**大切なことはむしろ、そっちじゃないのかなあとと思います。

**倉:**僕も最近はずごくそう思っています。大きな行事やイベントも大事ですが、コツコツと、決められた時期に決められたことが必ず行われるということが大事なのではないかと思うし、正直コロナでいろいろあって、心も折れそうになるんですけど、それでもちゃんと見て下さっている人がいるんだなあと思いました。

**菅:**ちゃんと見ているというか、うちの実家のお寺さまは普段誰もいないんですよ。それも見ているので、常に開いていて、誰かがいるということは、とても大変なことだと思うんですよ。だけど、そういう場所であり続けるということは、ありがたいことだと思いますよ。やる方は大変ですよ(笑)

**倉:**今は家族構成上何とかできますけど、できなくなる時が来れば、それも仕方ないと思います。その時はその時で考えるしかないでしょうが、今は頑張ります。

**菅:**「居るのが仕事」ということは必ずあると思います。またよろしくお祈りします。

(2022年8月23日 インタビュー)

# PHOTO GALLERY

3月21日 春彼岸会



ようやく春が来たねえ～！

5月28日 法話会



6月28日 法話会



講師は永寶晴香さん。  
僧侶として、母として、優しく語っていただきました！

7月10日 養泉寺マルシェ



7月28日 法話会



8月28日 法話会

盆参の準備のご協力も、ありがとうございました!



8月1日、7日 盆参・新盆会



講師は塚本智秀さん。「かくしたいこと」をテーマに、自らを隠さず語って下さいました!

9月23日 秋彼岸会



# お寺の裏側 —URATERA—

もっと知ってほしいお寺の情報や、知っているようで知らない仏事の豆知識などを紹介します！

Shinran  
500th  
SS



©2021 higashihonganji.jp

期日  
令和5年

2泊3日  
4月23日(日)~25日(火)

◎ご旅行代金 大人1名様 61,000円也(税込)(別途、本山志を車中にて集金させていただきます)  
◎募集定員 65名(定員に成り次第メ切) ◎申込金 10,000円(旅費充当)

御本山

## 東本願寺

〔慶讃法要〕参拝と  
京都天橋立の旅

宗祖親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年

来年春、私たちの本山、真宗本廟で勤まる慶讃法要にお参りし、ついでに京都の名所も見てきませんか？  
2011年に勤まった親鸞聖人の750回御遠忌法要も記憶に新しいところですよ。  
今回は、親鸞聖人の御誕生から850年、立教開宗800年という節目を機縁とした大法要です！

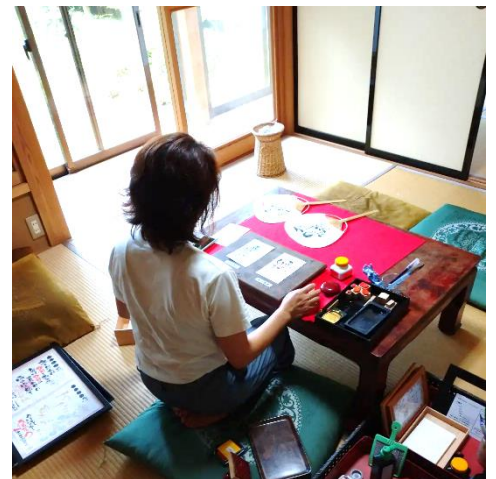
真宗門徒として、一生に一度は本山参りを！ 旅行に行けるのは、足腰が元気に動く時だけです！  
何度もないタイミングをどうか生かして下さい。ご希望の方はお寺まで！ **締め切り:10月末**



## 誰のしわざ？

今年冬、天井裏から音。上がってみると梁に小動物のひっかいた跡が！ 業者に頼んでも正体不明。春から音はしませんが最近になってまた…。やめて～！

境内に大量発生したクローバーで、子どもたちがハートを作ってくれました。  
忙しかった心もほっこりしました！  
クローバーのハート！



## 法語印で心のデトックス！

法語印継続中！ 個室で対面での対応となり、坊守との会話を楽しみに来る方も。夏にはテレビでも紹介していただきました！

## 寺族の声 - 編集後記 -

7月20日。新潟市から上の姉、東京から下の姉、京都から弟が集合。兄弟全員が揃い、父がお世話になっている老健てらどまりの応接室で面会が出来ました。

コロナで2年以上会えず、やっと面会ができるということで弟の帰省に合わせて実現しました。末っ子の弟は、涙をこらえ一生懸命話をしていました。集合写真は、まさに父との奇跡ともいえる一枚となりました。

さて、暑い夏でしたが体調も崩さず、どうにか乗り切ることができました。今私は、朝のお勤めが終わると、新潟日報の窓の欄を開いて、10代の子供達の投書を、声を出して読んでいます。声を出してしっかり読むのはいいリハビリになりますが、思いの他難しく、なか

なか口が回りません。若い子供達の前向きな内容に励まされ、勇気をもらっています。

毎週月曜日は、デイケアセンターにリハビリに通っています。車を運転し、近い所はお勤めできる様になりました。今後も無理のない範囲で、住職を手伝っていけたらと思っています。 文章：前住職（倉井静秋）



伝筆で、いろんな言葉、あなたも書いてみませんか？

様々なコースから技法を学び、自分で楽しめるようになります！！

これからの時期、手書きのハガキはいかが？  
喜ばれますよ！



LINE 友だち追加

一般社団法人伝筆協会  
認定講師



こちらからいろいろとやり取りもできますので、どうぞお気軽に連絡下さい！

ヨガ教室開催中！楽しくやっています☆

毎月第2・4月曜日  
13:15～、1時間程度

詳しくは大矢ひとみ先生まで！

Tel 090-2980-6293

Web <http://sonomamanohito.blogspot.jp>

今年一月に還浄され、書家としても活躍された大越正人(三宗)氏の貴重な書を一点、ご遺族からお寺に寄進いただきました。皆さんもぜひご覧下さい！



全ての連絡先、問合せ、疑問や質問、ご意見ご感想はこちらまで！！

電話 0258-75-2210  
ファックス 0258-75-2210  
ホームページ <https://yosenji-teradomari.jimdofree.com/>  
メール [yosenji1594@gmail.com](mailto:yosenji1594@gmail.com)  
郵便 〒940-2502 新潟県長岡市寺泊一里塚 3883

LINE 友だち追加

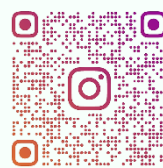


養泉寺 LINE

LINE 友だち追加



養泉寺 kids LINE



TERADOMARIYOUSENJI

養泉寺 Instagram

# 養泉寺 行事カレンダー（10月～2月）

<b>報恩講</b> （最も大切な仏事です）	<b>10月27日（木）</b> <b>10月28日（金）</b>
	<時間> 午前10時半～12時半頃 <志目安> 二千元以上、蠟燭、野菜など <備考> お齋持ち帰り・お供物あり
<b>おそうじ隊</b> （清掃ボランティア）	<b>10月22日（土）</b> <b>11月19日（土）</b>
	<時間> 午前9時～正午 <持ち物> 草刈り機（ある方）、鎌など <備考> ご協力お願いします!!
<b>法話会</b> （今年最後です）	<b>11月28日（月）</b>
	<時間> 午後1時半～3時 <志目安> お賽銭 <備考> 茶話会あり（お時間のある方）
<b>除夜の鐘</b>	<b>12月31日（土）</b>
	<時間> 午後11時45分～0時半頃まで <備考> 本堂にもお参り下さい!!
<b>年頭</b>	<b>1月1日（日）～</b> <b>1月5日（木）</b>
	<時間> 終日 <備考> 必ず御本尊にお参り下さい。
<b>初お講</b>	<b>1月28日（土）</b>
	<時間> 午前10時半～正午過ぎまで <志目安> 千円（お楽しみ会会費別） <備考> お齋、お楽しみ会は検討中

養泉寺の応援団「養泉寺  
サポーター」募集中!!



<発行> 養泉寺出版 2022年9月30日